

大手企業から新分野の受注獲得支援

マッチング

支援の経緯・課題

関西機械要素技術展のカドマイスター共同出展ブースに、大手エレベーターメーカーのフジテック(株)が来場され、サポートセンターのコーディネーターが発注先探索の相談に対応した。

同社の研究開発施設ビッグウィング製作所の関係者から、「エレベーターの部品の板金曲げ加工に対応可能な企業を探索して欲しい」との依頼を受けた。



フジテック株式会社
エレベーターカタログより引用

支援内容

大手フジテック(株)様案件の市内企業の探索の結果、門真市の同名企業：フジテック(株)が候補となった。門真市のフジテックにはコーディネーターが事前に工場見学をさせていただいており、ターレットパンチングプレス機に余力があると思われ、長年の大手電機メーカーとの取引で品質管理面でも実績のある企業であり、大手フジテック側に情報提供を行った。その結果、大手フジテックの2名が門真市のフジテックを訪問され、コーディネーターが同席しマッチングを行った。

支援の成果

門真市のフジテックが大手フジテックの彦根工場を見学。その後、大手フジテックから門真の工場評価のため来所され、総合評価を経て受注が確定した。6品種の受注が確定し、1ヶ月後に初納品。翌年に再度の依頼を受け合計33品番の受注を確定し現在に至る。2018年12月～2019年11月の受注実績は24,000千円であり、大手フジテックからの門真市内企業初の受注につながり、製造品出荷額プラスに寄与した。取り扱いが難しいカラー鋼板加工の技術力が評価された。

支援企業

フジテック株式会社

代表取締役社長 藤原 亮 創業：1960年5月1日

事業内容：照明器具用部品および照明器具のほか、各種板金部品の製作・組立

所在地：門真市岸和田2-2-23

企業様の声

サポートセンターからエレベーターのフジテック(株)様をご紹介いただき、従来の発注内容と違う加工であったが、前向きにとらえて丁寧に対応してきた。毎週、彦根工場に納品に出かけている。カラー鋼板の取り扱いを丁寧にやっていただけだと評価をいただき、約2年間継続受注できている。

担当CDより

以前、フジテック(株)様の工場見学をさせていただいた折に機械装置を拝見し、ターレットパンチングプレスの加工に余力があるように記憶していた。展示会に来場された大手フジテック(株)様から、板金曲げ加工の外注先紹介依頼を受け、即座に門真市のフジテック(株)を紹介して双方をつなげることができた。結果、受注に結びついたのは、丁寧な加工技術、組み立てなど一貫性が総合評価されたもの。

電気自動車用電極用部品の試作協力 企業の探索

マッチング

支援の経緯・課題

(株)西村製作所は、照明、半導体等の精密金属部品の製造を行っている企業である。同社から、電気自動車用電極部品（バスバー）の曲げ加工について加工先紹介の依頼があり、門真市内の企業探索を行った。この案件は4mm tとやや板厚が厚く、加工企業がなかなか見つからなかった。



支援内容

加工先候補企業を門真市内から探索し、4社に打診を行った。最終的に(株)大京精研が製造可能と判明し、(株)西村製作所に伝えた。その後は、相互に連絡を取り合って頂き検討を進めていただいた。



支援の成果

電極用部品試作品の加工を、門真市内企業と連携してできることが可能となった。試作加工部品は合計6サイズ、個数は9個。金額は約11万円。曲げ、穴あけ加工など、自社でできない加工を門真市内を中心に、近隣の企業と協力体制を築き、新規分野への進出体制の構築に成功した。



支援企業

株式会社西村製作所

代表取締役 西村 勝美 創業：1980年4月1日
事業内容：照明、自動車、二次電池、半導体、等の精密金属部品の製造販売
所在地：三ツ島4-24-16

企業様の声

当社は薄板小物の金属プレス部品を得意としており、今回の案件は厚板かつ大物の製品であるため、対応に困っておりました。そこで、サポートセンターにご相談させて頂きましたところ、(株)大京精研様をご紹介頂きました。顧客要求である納期/コストに対応可能とのことから、大京精研様へ発注させて頂き、無事に案件が完了致しました。顧客からの評価も良く、次の案件へと繋げられる結果となりました。

担当CDより

(株)西村製作所様は、二次電池・弱電・半導体関係を中心として小物部品の加工技術に優れており、今後の発展が期待される企業の一つです。今後電気自動車部品関係にも範囲を拡大されるようで、新分野へ展開するにあたり、自社でできない加工を門真ネットを中心として協力体制を築き、確実な供給網を構築していただくことに協力してゆきたい。電気自動車は今後の発展が期待される分野の一つである。

大型受注案件の短納期化を実現するための工程設計支援

生産性向上

支援の経緯・課題

受注済みの「水耕栽培用トレイ」を納期までに完納必達するための工程設計を支援いただきたい」とのニーズをいただき、支援を開始した。



支援内容

関係者とニーズの確認、そのあと工場を見学した。その結果、納期遵守するためのポイントは以下の3点であることを共有した。

①各工程のサイクルタイム差が大きく、そのため待ち時間が発生。ロットNo毎の全工程タイムチャートを作成すると、待ち時間とその原因が一目瞭然にわかる。

②主要パーツの「トレイ」が相当大きい。待ち時間や成形ロットサイズ次第では仕掛り在庫保管スペースが確保できない。

③動線が交差し、ムダがある。

そこで、これらを解決するための考え方、具体的な手法（Work Design, CPM(Critical Path Method)など。たとえば工期短縮への最善手は、部品そのもの、工程そのものをなくせないか、直列工程を並列にできないか、など）を紹介した。

これを受けて、社内でBS(Brain storming)が実施された。

支援の成果

社内BSの結果、画期的な創意工夫案がいくつも出された。これらをもとに発注企業に図面変更を伴う提案を行い、承認を得ることができた。

提案とは、2部品を一体化し、1部品2機能にさせること。これによって、各工程(マン、マシン)のサイクルタイムの平準化をはじめ、左記の問題点を解決できた。

その結果、当初は非常にタイトな工期だったが、大幅に短縮でき、納期を遵守することができただけでなくコストダウンも実現できた。

支援企業

株式会社大和真空

代表取締役 西口 佳弘 創業：1971年9月1日

事業内容：精密部品・自動車部品・メディカル用などの工船用・搬送用トレイの企画・設計・製造

所在地：門真市四宮3-1-37

企業様の声

工期短縮への並行工程化、タイムチャートなどはおおいに参考になった。また従来はなかった開発設計者と製造担当者間でも活発な議論がなされた。これが大きな相乗効果を生んだ。2部品の一体化がその典型。2部品のもつ機能を満たす方策を議論し、1部品に2機能をもたせた。その結果、製造段階ではさほどの苦もなく納期遵守できた。QCDすべてに多大なメリットを生む源泉になった。

担当CDより

工期短縮への手法を会議メンバーに伝えたが、これほどの相乗効果を生むとは望外のよきこび。おみごと！というほかない。

事業承継における補助金活用提案

補助金活用

支援の経緯・課題

御菓子処絹笠より「フードプリンター導入を検討しており「ものづくり補助金」申請を考えている。」との相談を受けた。また数日後、同社から「同業の『まむ多』が道路拡幅により店舗移転を余儀なくされ、これを機に閉店を考えている、と伺った。20有余年、師匠のようにご指導を受けた先輩の築いてこられた北河内の和菓子を絶やしてはいけないとの思いから、継承を打診したところ快諾いただいた」とのこと。それなら、「ものづくり補助金」ではなく、「事業承継補助金」を検討されるべきだと提案し同意を得た。事業承継するためには、雇用維持はもちろん、事業再編を伴い多額の費用が必要なため、事業承継補助金制度で該当する類型を協議し、申請に着手した。申請書作成、補助率UP要件の確認などを行った。



まむ多 萱島店

支援内容

絹笠様からご相談いただいた内容から、これは「事業承継補助金制度」の趣旨に沿うのでは、と思ってお勧めした。「『まむ多』の従業員さんともども事業承継したい。かつ『フードプリンター』導入によって、革新性・先進性を高め、さらにお客様ニーズにお応えしたい。」との思いから同意を得た。同制度のなかで協議した結果、類型は「事業再編・事業統合支援型」が補助上限額も高いため、これを目指した。加点要件のひとつである「先端設備導入計画」の申請についても提案の結果取り組むこととなった。

支援の成果

7月に採択決定通知をいただき、交付金額は上限に近い額となった。補助事業期間の期限が2020年末だったため、これを考慮して承継事業をすすめ、事業承継・事業再編を行った。



支援企業

有限会社和心

代表取締役 高田 佳代子 創業：2015年10月5日

事業内容：賃貸業・和菓子製造

所在地：門真市常盤町 2-3

企業様の声

『まむ多』の和菓子製造販売スタッフも引き続き雇用させていただいたので、スムーズに継続できるのでは、と思った。地域一番店が閉店しなかったことで、北河内の伝統的な和菓子文化を継承することができ、かつ「フードプリンター導入」により、さらにお客様によりよくなるだけでなく、地域貢献につながった。



担当CDより

日頃から絹笠担当者の誠実さを感じしていたので、交付決定を受けて、サポートセンターとしても非常に嬉しい限り。事業再編、事業継承、道路拡幅が重なり、今夏まで超多忙が続くと思うが、ぜひお客様の熱いご声援にお応えいただけるよう、新型コロナウイルスにも負けずがんばっていただきたい。

「納豆」の新製品開発・マーケティング支援から経営・事業戦略支援

経営戦略

支援の経緯・課題

(株)エイコー食品は、納豆が苦手な方にも食べて頂けるように仕上げる蒸煮と発酵技術を自社技術とする企業です。2019年12月の初回訪問以来、情報交換を重ねるごとに同社の現状と将来に向けたブレークスルーについてのコンサルティング要望が高くなり、同社事業である「納豆製造・販売」という成熟マーケットでの新たな事業開拓、さらには、近い将来の事業承継も視野に入れた経営のブレークスルーに対する支援を求められている。



さらには、近い将来の事業承継も視野に入れた経営のブレークスルーに対する支援を求められている。

支援内容

日本古来の発酵食品である「納豆」メーカーとして、全国納豆鑑評会でも5度の入賞歴を誇るエイコー食品の技術・ノウハウをコアコンピタンスと位置づけ、新製品開発&マーケティング強化による新市場開拓、販売力強化、事業規模の飛躍的拡大をテーマとした経営戦略&事業戦略の策定・実践に着手。これを後方から、あるいは側面から、さらにはコンサルレベル、ビジネスレベルからの支援を実行中。

支援の成果

2020年10月現在、まったく新しい発想とコンセプトによる新製品の開発にトライ中。新製品量産のための生産設備の導入とwithコロナ対策としてのオンライン戦略も踏まえた「ものづくり補助金」申請にもトライ（2021年2月採択済）。新製品を前面に押し出したマーケティング戦略も企画立案中であり、具体化のためのクリエイティブも全面支援。今後は、将来への事業ビジョンを明確に描くロードマップ（経営戦略）の策定をサポートしていく予定。

支援企業

株式会社エイコー食品

取締役会長 佐藤 光晴 創業：2008年9月19日

事業内容：納豆の生産、販売

所在地：門真市大橋町26-23

企業様の声

門真市中小企業サポートセンターの担当コーディネーターとの出会いが、シュリンクしかけていた事業意欲をポジティブな方向にシフトする機会となった。次代への事業承継に向けても、具体的なビジョンを描き、会社の明日を切り開くきっかけになった。

担当CDより

エイコー食品様は、卓越した納豆製造技術とノウハウをしっかりと保有しているにも拘わらず、事業ビジョンの明確化が遅れていることが要因となって、ネガティブな経営イメージをもっておられました。自社のポテンシャルと明確なマーケティングのベストミックスが大きな可能性を呼び起こすことに気が付かれ、ポジティブなビジネスへ舵を切っていくことに着手されました。今後も継続して支援していきたいと思っています。

大阪府の無料知財相談の活用による 意匠権の自社登録

知財化相談

支援の経緯・課題

(株)曾我製作所は、金属薄板の精密板金加工技術を主とした製品の製造販売を行っている。
自社製品の「足踏み式消毒装置」のウェブ販売について相談があった。
しかし、販売前に知財保護について検討も必要とのことから、急いで大阪府の窓口・無料の専門家相談制度を紹介した。



支援内容

サポートセンターまで大阪府の知財専門家に出向いていただき相談を行った。特許化する際の課題、意匠権登録の意義など協議して、自社で意匠登録を進めることになった。

支援の成果

自社単独で意匠権登録を済まされ、ウェブによる販売を開始された。



支援企業

株式会社曾我製作所

代表取締役社長 曾我 章 創業：1982年6月1日

事業内容：薄板精密板金加工を主とした製品製造

所在地：門真市東江端町8-33

企業様の声

サポートセンターが素早く、大阪府の関係部署につないでいただき、サポートセンターで相談ができた。
ウェブ販売を控えて、即決する必要もあり、意匠権登録するという判断になった。
自社製品の信頼性が向上した。

担当CDより

大阪府の知財の窓口相談制度を熟知しており、無料で相談員が来所していただけるよう依頼した。
販売前であり時間も無い中で特許化の課題もあり、双方で協議していただき、最終的に意匠登録をされて、販売されることになった。
今後も、公的支援機関の制度活用を積極的に活用されるようつなぎ役に徹したい。

サプライチェーン強化に向けた新規取引先構築のための市内企業紹介

マッチング

支援の経緯・課題

Takeda Works(株)は、社内の設計標準規格、品質管理規定をベースにISO9001、ISO14001、大阪ものづくり優良企業賞を取得している、大手企業の品質保証工場でもある。部品加工はすべて外部に委託している。有機廃棄物資源化装置（Vaccum rotary KILN）が環境保護対策ツールとして、農林水産省・自治体はもとより世界規模で認知がひろがっている。このKILNの需要拡大に対応すべく多岐にわたるサプライチェーンの強化拡大ニーズがあり、対応することとなった。



Vaccum rotary KILN

支援内容

サプライチェーンの強化・拡大ニーズが、門真企業求心力の源泉となりうると判断し、『多岐にわたる優秀なシーズ企業が門真市内に集積していることから、まずは、(QCDすべてにメリットのある)近在の門真市企業群から探索する』ことを提言。加工種類は、大口徑管製缶、(大型)旋削加工、溶接、球面研磨、樹脂加工、放電加工など多岐にわたる。サポートセンターからこれらシーズ企業情報を提供し、面談の支援を行った。

支援の成果

サポートセンターから、様々な加工種類のシーズを持つ市内企業情報を提供し、順次紹介・工場見学などに進んでおり、いずれも好感触を得ている。池田工業(株)、大阪光学工業(株)、(有)ナカタテクスタほか、いずれも門真市内はもとより大阪府下・近畿内でも非常にまれで、優秀な加工技術をお持ちの企業である。これら企業とは、すでに試作～見積り～取引開始のステップのいずれかに至っているほか、双方向の相乗効果も出ている。

支援企業

Takeda Works 株式会社

代表取締役 原 正和 創業：1946年7月1日

事業内容：医薬・食品・有機廃棄物資源化装置分野の製品の開発・設計・組立

所在地：門真市四宮5-1-1

企業様の声

サプライチェーン強化へ、近在企業を紹介いただき、QCDすべてにわたって密な交流ができ、非常に助かっている。従来からの取引範囲は、門真市内もあるが東は千葉、西は広島まで広範囲にわたっている。近在の優秀な企業にも着眼すべきであり、よい転機になった。今後とも近在の企業とのつきあいも大切にしたい。

担当CDより

門真市内企業の活性化に向けて、このような核となる企業に巡り合うことができた。かつ、市内企業群の高度な技術レベルを知る機会にもなった。また、企業同士が近在に必要な技術の持ち主があると知った時の驚きと、お互いのマッチングへの意欲に接したときはコーディネーター冥利に尽きるものがある。ポータルサイト「ものづくりタウンかどま」も、今回の探索に有効な源泉となった。



ものづくりタウンかどま
MONOZUKURI TOWN KADOMA

ダイキン工業からの共同開発案件に対する提案による受注獲得

マッチング

支援の経緯・課題

セイキョク住設(株)は、郵便ポスト、鋼製家具など板金技術を要し、非常に工程数が多い加工品の生産を得意としており、住宅用郵便ポストの国内シェアNo.1を実現しています。サポートセンターのコーディネーターが入手した、ダイキン工業様のクローズ商談会案件の、「全天候対応金属筐体製造技術」のニーズについて、門真市内企業で候補を探索した結果、同社が候補に挙がったため、水面下で同社を推薦した。同社の金属板の接合加工についてダイキン工業側の関心が高く協議を進めることとなり、ダイキン工業の担当者が同社を訪問することになった。



支援内容

ダイキン工業(株)から同社への同行訪問の依頼を受け、日程調整・訪問趣旨等を説明し準備を行った。面談日には同席を行いコーディネートを行った。同社より会社概要、技術などを説明し、ダイキン工業のご担当者からもあらためてニーズを説明した結果、ニーズに合致するとの結論に至った

支援の成果

ダイキン工業(株)に対する、他の支援機関からの紹介企業の中で、ニーズに合致する技術は同社のみであった。結果、ダイキン工業堺工場にて双方、詳細な打ち合わせを実施。その後、新型コロナの影響によりダイキン工業では訪問、面談を控える方針が出され進捗が遅れているが、2~4年計画で進められるニーズであり、まずは共同開発を行い海外向け製品対応の準備中である。国内向けの対応は、その後になるという。

支援企業

セイキョク住設株式会社

代表取締役社長 西村 英一 創業：1964年

事業内容：金属材料を主とした設計・加工(プレス・精密板金)・塗装・組立、金型設計・製作

所在地：門真市四宮6-6-41

企業様の声

弊社の郵便ポスト向けの金属板接合加工を高く評価いただき、空調機向けの部品への応用が可能とのこと、ご紹介に感謝しています。

担当CDより

セイキョク住設様には、ものづくり補助金申請でご質問をいただき、ご説明のため訪問させていただいた際に、パナソニック社の郵便ポスト製作で、シェア50%以上、量産に対応できる三重県工場、プレス加工および組み立て中心の門真工場について紹介を受けていた。今回のダイキン工業様の案件に合致すると考え、推薦書を提出させていただきました。結果、商談が進捗する予定であるが、新型コロナ禍が収まる状況待ちとなっている。

補助金の申請支援

支援概要

サポートセンターでは、国や大阪府、門真市が公募する各種補助金の制度の紹介を行い、設備投資等における資金調達手段として活用提案を行い、申請にトライされる企業の申請支援を行っています。採択された企業に対しては、補助金獲得後の課題相談や報告書作成等の支援を行っています。

支援の成果

■ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金（中小企業庁）

- 平成29年度補正（1次・2次）
支援社数 20社、採択社数 16社
先端設備導入計画申請 14社（内、3社に申請支援を実施）
補助金交付申請額：113,370千円
- 平成30年度補正（1次・2次）
支援社数 18社、採択社数 10社
先端設備導入計画申請 8社
補助金交付申請額：83,627千円
- 令和元年度補正（1次・2次・4次）
支援社数 7社、採択社数 5社
補助金交付申請額：44,400千円

■事業承継補助金（中小企業庁）

- 令和元年度補正
支援社数 1社、採択社数 1社
補助金交付申請額：12,000千円

■小規模事業者IT導入促進補助金（門真市）

- 令和2年度
支援社数 5社、採択社数 5社
補助金交付申請額：876千円

顕彰制度の申請支援

顕彰制度

支援概要

サポートセンターでは、大阪府や門真市による各種顕彰制度の紹介、申請の提案、申請支援を行っています。
選定された企業は、PRや資金調達、人材採用面でのメリットにつながるため、積極的に提案を行っています。

支援の成果

■大阪ものづくり優良企業賞（匠：大阪府）

- 大阪ものづくり優良企業賞2018 : 申請支援 5社、認定 4社
(株)古谷鉄工所・(有)吉田歯車製作所・太喜精工(株)・(株)酒井製作所
- 大阪ものづくり優良企業賞2019 : 申請支援 7社、認定 7社
(株)コナカ樹脂精工、(株)畑山金属工業所、栗原木工(株)、(株)西村製作所、大陽産業(株)、アスノック(株)、大光紙工(株)
- 大阪ものづくり優良企業賞2020 : 新型コロナの影響で募集中止



■大阪府優秀技能者表彰（なにわの名工：大阪府）

- 令和2年度 : 推薦書作成支援 3社、認定 3社
(株)西村製作所、智頭電機(株)、栗原木工(株)

■大阪製ブランド（大阪府）

- 令和2年度 : 申請支援 2社、認定 2社
採択製品 : 協和巧芸(株)「ステンレス製ペットの迷子札」
北次(株)「マイフェイバリットエプロン ギャルソンショート」



ステンレス製ペットの迷子札



マイフェイバリットエプロン ギャルソンショート

■カドマイスター（門真市）

- カドマイスター2019 : 申請支援 3社、認定 3社
扶桑金属工業(株)、(株)大日商会、(株)酒井製作所
- カドマイスター2020 : 申請支援 2社、認定 2社
アートウインズシートメタル(株)、(株)スリーエフ技研
- カドマイスター2021 : 申請支援 4社、認定 4社
(株)西村製作所、(株)菅野製作所、(株)信和機刃、(有)メニ・テック



新型コロナウイルス感染症関連支援



支援概要

サポートセンターでは、令和2年4月以降、新型コロナウイルス感染症関連の相談窓口として相談者の対応を実施し、国や大阪府等が実施する支援施策の情報提供や申請支援等の各種支援を行いました。

支援の成果

■ 施策情報提供、セーフティネット融資認定書作成支援、影響ヒアリング調査等

● 対応事業者数	152事業者
● 相談対応回数	延べ 236回
内訳	電話対応 112回、来所対応 72回
	メール対応 38回、訪問対応 14回

■ 持続化給付金（中小企業庁） 申請支援

● 対応事業者数	73事業者
● 相談対応回数	延べ 129回
内訳	電話対応 75回、来所対応 44回
	メール対応 6回、訪問対応 4回

■ 家賃支援給付金（中小企業庁） 申請支援

● 対応事業者数	16事業者
● 相談対応回数	延べ 68回
内訳	電話対応 31回、来所対応 33回
	訪問対応 4回

■ 休業要請支援金（大阪府・門真市共同支援金） 申請支援

● 対応事業者数	17事業者
● 相談対応回数	延べ 24回
内訳	電話対応 8回、来所対応 16回

■ 休業要請外支援金（大阪府） 申請支援

● 対応事業者数	23事業者
● 相談対応回数	延べ 44回
内訳	電話対応 18回、来所対応 23回
	メール対応 2回、訪問対応 1回

■ 営業時間短縮協力金（大阪府） 申請支援（第1期・第2期）

● 対応事業者数	20事業者
● 相談対応回数	延べ 48回
内訳	電話対応 8回、来所対応 40回